



TEAM戸上

千曲市立戸倉上山田中学校だより NO. 10 文責 福田 菜津子

全国学力・学習状況調査の結果から (4月17日実施)

4月に全国の中学生を対象として、国語・数学の2教科と今年度は理科の調査が実施されました。8月末に出された結果をもとに、戸上中でも分析をしましたので、その概要についてお知らせします。

国語	<p>平均正答率は、全国、長野県の平均正答率(以下県平均)と同程度な結果となりました。よくできていた問題は「文章中に使われている言葉の意味を正しく理解していること」や「目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること」などに関する問題です。課題として見えてきたこと、その課題に対して取り組んでいくことは以下の通りです。</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #f0e6d2;"> 【結果から見えてきた課題】 <ul style="list-style-type: none"> ○書く内容の中心が明確になるように、内容のまとめりを意識して文章の構成や展開を考える力 </td><td style="background-color: #d9ead3;"> 【授業改善の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> ○日頃から自分の考えなど文章を書く習慣を身につけられるようにします。 ○教材などで学習した文章の構成や展開の仕方をもとにしながら、自分の文章に生かす学習場面をつくります。 </td><td style="background-color: #d9ead3;"> 【このように学習してみよう！】 <ul style="list-style-type: none"> ○問題集などで条件付き作文などを書く問題に多く取り組もう。 ○新聞の社説やSNSなどに出てくる評論文を文章の構成や展開の仕方に着目しながらたくさん読もう。 </td></tr> </table>			【結果から見えてきた課題】 <ul style="list-style-type: none"> ○書く内容の中心が明確になるように、内容のまとめりを意識して文章の構成や展開を考える力 	【授業改善の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> ○日頃から自分の考えなど文章を書く習慣を身につけられるようにします。 ○教材などで学習した文章の構成や展開の仕方をもとにしながら、自分の文章に生かす学習場面をつくります。 	【このように学習してみよう！】 <ul style="list-style-type: none"> ○問題集などで条件付き作文などを書く問題に多く取り組もう。 ○新聞の社説やSNSなどに出てくる評論文を文章の構成や展開の仕方に着目しながらたくさん読もう。
【結果から見えてきた課題】 <ul style="list-style-type: none"> ○書く内容の中心が明確になるように、内容のまとめりを意識して文章の構成や展開を考える力 	【授業改善の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> ○日頃から自分の考えなど文章を書く習慣を身につけられるようにします。 ○教材などで学習した文章の構成や展開の仕方をもとにしながら、自分の文章に生かす学習場面をつくります。 	【このように学習してみよう！】 <ul style="list-style-type: none"> ○問題集などで条件付き作文などを書く問題に多く取り組もう。 ○新聞の社説やSNSなどに出てくる評論文を文章の構成や展開の仕方に着目しながらたくさん読もう。 				
【結果から見えてきた課題】 <ul style="list-style-type: none"> ○事象を数学的に解釈し、問題を数学的に説明する力 ○図形の証明の問題の結果より、筋道を立てて証明していく力 	【授業改善の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> ○数学的な表現を用いて、説明する場面を増やします。 ○ICT機器などを利用し、図形を観察しながら、性質を見つけたり、考えたりする活動を取り入れます。 ○ゴールから逆向きに考えたり、既に学んだことを振り返ったりできるように支援します。 	【このように学習してみよう！】 <ul style="list-style-type: none"> ○图形をとらえるときに、图形の中に学習した基本的な图形が隠されていることが多くあります。その图形が見つけられるように、日頃からいろいろな方向から图形を見て判断してみよう。 ○問題から読み取れることを書き出したり、図に書き込んだりして、分かっていることを整理してから問題に取り組んでいこう。 				
理科	<p>平均正答率は、全国、長野県の平均正答率(以下県平均)をやや上回る結果となりました。よくできていた問題は「元素を記号で表すこと」、「地層に関するここと」や「気体の密度の大小関係を分析して解釈できる」となどに関する問題です。課題として見えてきたこと、その課題に対して取り組んでいくことは以下の通りです。</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #f0e6d2;"> 【結果から見えてきた課題】 <ul style="list-style-type: none"> ○問題を解決するための課題を設定できる力 ○大地の変化について、時間的・空間的な見方を働きかせ、地層の広がりを検討して表現できる力 </td> <td style="background-color: #d9ead3;"> 【授業改善の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察で、何を知るために行っているのかという、見通しをもつ支援を行います。 ○実験室で再現できないスケールの事象を、デジタル教材などを用いて、イメージがもてるような支援を行います。 </td> <td style="background-color: #d9ead3;"> 【このように学習してみよう！】 <ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察に、予想をもって取り組もう。また、結果に対してもなぜこの結果になったのか、結果からどんなことがいえるのかを、考えよう。 ○日頃から、事象や状況を図で表してイメージすることや、授業で扱ったデジタル教材を自分でも操作してみよう。 </td></tr> </table>			【結果から見えてきた課題】 <ul style="list-style-type: none"> ○問題を解決するための課題を設定できる力 ○大地の変化について、時間的・空間的な見方を働きかせ、地層の広がりを検討して表現できる力 	【授業改善の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察で、何を知るために行っているのかという、見通しをもつ支援を行います。 ○実験室で再現できないスケールの事象を、デジタル教材などを用いて、イメージがもてるような支援を行います。 	【このように学習してみよう！】 <ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察に、予想をもって取り組もう。また、結果に対してもなぜこの結果になったのか、結果からどんなことがいえるのかを、考えよう。 ○日頃から、事象や状況を図で表してイメージすることや、授業で扱ったデジタル教材を自分でも操作してみよう。
	【結果から見えてきた課題】 <ul style="list-style-type: none"> ○問題を解決するための課題を設定できる力 ○大地の変化について、時間的・空間的な見方を働きかせ、地層の広がりを検討して表現できる力 	【授業改善の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察で、何を知るために行っているのかという、見通しをもつ支援を行います。 ○実験室で再現できないスケールの事象を、デジタル教材などを用いて、イメージがもてるような支援を行います。 	【このように学習してみよう！】 <ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察に、予想をもって取り組もう。また、結果に対してもなぜこの結果になったのか、結果からどんなことがいえるのかを、考えよう。 ○日頃から、事象や状況を図で表してイメージすることや、授業で扱ったデジタル教材を自分でも操作してみよう。 			

質問紙

学校・学習全般に対する質問紙では生活面として、「学校に行くのは楽しい」、「友人関係に満足している」や「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い」という質問に肯定的に回答している生徒が大変多かったです。充実した学校生活や日常生活を送ることができていることは嬉しく思います。

学習面では、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」、「分からることや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている」や「友や周りの人と話し合い、互いに協力しながら課題解決に取り組んでいる」という回答が大変多く見られました。また、「国語、数学、理科の学習は大切だ」という回答も多かったです。本校のグランドデザインの中心の1つとしている「学び合い」による学習の成果のひとつと考えます。今後も、友との学び合いを大切にしながら、自らの深い学びにつながるように支援していきます。

「全教科で取り組みたいこと」 全教科で取り組みたいこと、生徒の皆さんへのアドバイスは次の通りです。

学習していることを、自分事にしよう。

ア:課題(何を学習するのか、何を解決するのか)を明確にして学習に取り組もう。

イ:学習したことを自分の言葉で表現してみよう。

ウ:振り返りを丁寧に行い、学習前の自分と比べてみよう。

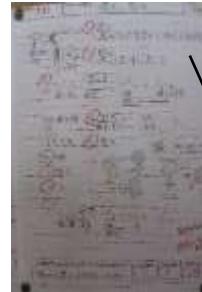
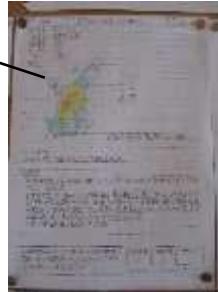
エ:意見を交換しながら、友の考えとの共通点や相違点を見つけ自分の見方や考え方を広げていこう。

オ:家庭学習など、授業以外で学習に取り組む習慣を身に着けよう。



学習シートに「今日起きた地震について」調べまとめられています。

水スペの時間、3年生が1年生に教えていました。



学習シートに授業で学んだ、「酸化・還元」についてさらに学びを深めています。

防犯教室がありました

避難訓練の一環として、不審者対応訓練がありました。24年前の兵庫県の大蔵教育大学附属池田小学校の校内に不審者が入り、小学生・教職員が死傷した事件を受け、学校では数年に一度、このような訓練が行われています。今回は、教室での避難の仕方、また、不審者が確保された後の行動について、確認しました。

校内放送が流れると、教室のカーテンを閉め、教室中央に集まり身を潜めます。そして、「不審者が確保された」と言う放送が流れたあと、すみやかに体育館に移動しました。一言も発さず、静かに移動する姿に千曲警察署スクールサポーターの岡田さんも、「すばらしいですね」と褒めてくださいました。



岡田さんから、「校外に出たら『自分の命は自分で守る』ことを忘れず、4つの力〈①身体の力(逃げる力) ②危機への知恵・知識力 ③コミュニケーション能力 ④大人力(自分で判断する力)〉をつけましょう」というお話をありました。また、「挨拶するところに犯罪はないから、地域に出て大きな声で挨拶してください」というお話もありました。本校のプライドファイブにある「元気あふれる挨拶」ができるよう、これからも心がけていきたいです。



トークフォーカダンス

戸倉公民館、上山田公民館や戸倉上山田商工会、千曲市社会福祉協議会の方々が中心となり、1年生と地域の方と語り合うトークフォーカダンスが開催されました。今回で4回目となります。

語り合いの前に、「ピンポン球送りゲーム」で生徒と地域の方が輪になり、お互い緊張をほぐしました。その後、「中学校で一番楽しいことは何ですか」「宝島に持っていくとしたら、何を持っていきますか」など示されたテーマでお互いに話し、交流しました。

はじめは緊張していた生徒たちも、徐々に心を開き地域の方と話をする姿が見られました。途中、あんずジュースとおやきをおいしく頂きました。

話のテーマから、耳を傾け、相手に関心を持ち、相手が「もっと話したい」と思うキーワードを探しながら、話を深めていく過程は、カウンセリングの技法と同じです。そして、「話を聞いてもらえた」と感じると、「この人ならもっと話をしたい」と思える活動になります。生徒たちに身近なツールであるスマホで会話するよりも、対面で直接話すことの良さを実感する時間になったと思います。

トークフォーカダンスが終わった日の夕方、地域の方から「来年もこの活動を計画してほしい、ぜひまた参加したい」とお電話をいただきました。生徒からも、「話をしていくうちに、どんどん盛り上がって楽しかった」という声が聞かれました。今後も地域の方と連携しながら、この活動が続いていくとよいです。



人権講話

11月の人権教育月間にあわせ、校長先生から講話がありました。講話の中で、愛の人「マザーテレサ」が紹介されました。

マザーテレサは生涯、どんな立場の人に対しても献身的に奉仕を続け、ノーベル平和賞も受賞した修道女です。

そのマザーテレサの言葉がいくつか紹介されました。生徒のみなさんは、これらの言葉をどのように感じたでしょうか。
しばしば、人が集まると噂話に花が咲きます。そしていつしか、
噂話が人の悪口になっていくことがあります。人の悪口を
言っている顔を自分で見ることはできませんが、傍から
みて、悪口を言っている顔は美しいものではありません。
人の悪口を言って仲良くなった友達とは長続きしません。

思考に気をつけなさい	それはいつか言葉になるから
言葉に気をつけなさい	それはいつか行動になるから
行動に気をつけなさい	それはいつか習慣になるから
習慣に気をつけなさい	それはいつか性格になるから
性格に気をつけなさい	それはいつか運命になるから

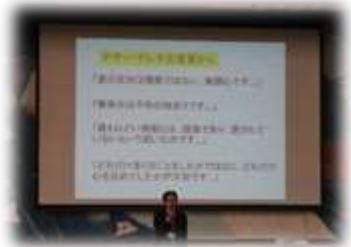
マザーテレサのように献身的に奉仕を続けることは難しい

ですが、これらの言葉を頭の片隅において毎日の生活を送れればと思います。

他にも有名な言葉に「愛の反対は憎悪ではなく、無関心です」があります。

先日、登校してきた2年生が「先生、今、1年生の子だと思うけれど、自転車で転んで血を流していたよ」と教えてくれました。その後すぐにその1年生が登校してきたので手当をすることができました。学年が違えば、そのまま通り過ぎてしまうこともあるかもしれません。しかし、そこに優しさがありました。

「思いやり」は相手に関心を持つことからはじまります。関心を持つことは「ささやかな優しさ」にもつながります。「思いやり」と「ささやかな優しさ」を大切にしていきたいですね。



人権講演会

11月の人権参観日にあわせ、人権講演会が行われました。インフルエンザが流行し始めたため、急遽、各教室でオンラインでの実施となってしまいましたが、ご参加いただきありがとうございました。

今年は、武井美千代さんを講師に小中学校時代のいじめから心身に不調をきたし、自死を選択した息子の健介さんのお話を聴きました。いじめが元で、ひとりの人生だけでなく、その人を支える家族の人生までも変えてしまいます。

武井さんの話を食い入るように聞く生徒の姿がありました。母としての思いに心がゆさぶられ、涙する保護者の方もいらっしゃいました。講演会の最後には、プリンセスプリンセスの「M」が流れ、健介さんの写真が写し出されると、「健介さんが本当に存在したんだ」と話と实物がつながり、涙する生徒もいました。

私は、これまで何度か武井さんと一緒に仕事をしたことがあります。毎回講演会後、気力も体力もすべて使い果たし、これほどまでにつらい出来事を話してくださる武井さんにただただ頭が下がる想いでした。

ですが、妹のゆうこさんがお兄さんの思いをひきつぎ、スタイリストとなり活躍していること、お孫さんが生まれたこと、ご主人が大好きなスキーを子供たちに教え始めたことなど、少しづつ、武井家が悲しい出来事を乗り越え、前をむく姿に心打たれます。

講演会が終わり、「何年かぶりに健介さんに会うことができました」と伝えると、武井さんは「健介のお墓に花とお菓子を供え、報告してくるわ」とおっしゃっていました。

今、目の前に、一枚のしわひとつない真っ白な紙があります。その紙をくしゃくしゃに握りつぶします。その紙を元通りにしようとしても、元のようなしわひとつない紙に戻ることはできません。誰かに傷つけられた心も同じです。決して元に戻らないのです。いじめは絶対にしてはいけません。

是非、ご家庭でも講演会の内容についてお話ししていただければと思います。



【編集後記】

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

先日の職員会議で、6人で1つのグループになり、「チーム全員で人差し指とペンを使って亀を描く」という演習をしました。人差し指でペットボトルを支え、協力しながら絵を描きます。人差し指しか使えないのに、うまく力が伝わりません。リーダーシップを取る先生、「こうしたら描ける」とペンをどの方向に動かせばいいかアドバイスする先生などそれぞれ役割分担し、気持ちを合わせて、ひとつの絵を完成させました。

先生たちが和気あいあいしながら演習を楽しむ時間となりました。

教職員も「チーム戸上」として協働できる集団になるよう努めていきたいと思います。



